

コミュニティ

# うえた

みんなで考えよう！うえたのまちづくり

コミュニティセンター新スタッフ

うえたの人 ～おとこ～



植田駅近くの春日川畔では、春には菜の花、秋にはコスモスが咲き誇って、毎年私たちを魅了させてくれています。これらを撮っているのが、川原で絵葉書を買っている藤野善さん（24歳）です。

思いどおり好きなという藤野さんの家の周りには、いつも花々が咲いていて、眺めることがありません。ご自宅前の庭木は、切られてしまう間い木やもろい葉を受けて枯れ、埋もれたままになって石を利用して園い木を作ったものだそうです。そんな庭の緑が丘という気持ちから、7～8年前から春日川畔に菜の花の畑をまくようになりました。菜の花の植栽は年中のうちに、減反している田んぼや近くの高野でも鮮やかな黄色い花を咲かせました。数年前からはおもいもれするようになった。コスモスも育てるようになりました。「思いどおりです実行」という藤野の思い。植田みよの跡とおお入りの言葉が書かれた看板を立て、休憩用のベンチも設置し、初夏にはこの辺りも泳がせるようになりました。ここのほうが、現在は1つですが、あと3つくらいはほしいそうです。

「おなかやな気分でも通して欲しい」と思い始めてましたが、あいにくの天候でここでこのペースも落ちています。」とおっしゃいます。また、「植田には自然がある人があるのに、その思いがあまりない。子供たちに思いを伝えてあげたい。」と。そして今年、河川の工事が終わって整備された川原に、10名の畑の苗を植えました。そのうちの1名は、小学校入学金として別荘の新築3名と合わせて10名に増えました。あと40年したら立派な畑になってくれるだろう、と楽しみにしていらっしゃいます。「作業を手伝ってもらうと、畑や機械を借りてもらったり、花がきっかけで人とつながりが広がってきた。できれば、一緒に活動してくれる人がもっと欲しい。地域の人がもっともっととれたら、嬉しくて、暑のこらい活動ができればいいと思う。」と語って下さいました。

夏越し朝川川（現大村川）のご出身で、18歳の時に高校へ来られたという藤野さん。「何かの縁でここに生んでいるのだから、ここを住み続けたい。住み続けたい」という思いが、お会いに納まりました。



春の朝の光もお待ちしています

植田地区クラブ活動

3月8日の朝早い早朝、上信山を登るにひかえ植田公園において、植田区区民クラブ活動会が主催、その依頼元委員会、大町支部、本村ひまわり会、草津会、折原会、若竹会の各クラブ協賛でグラウンドゴルフ大会が行われました。この大会は熱心クラブ等の会員加入促進事業の一環として実施され、両植田グラウンドゴルフ利用会のメンバーが毎回審判員として参加し、各チームに一人ずつついて、記録やアドバイスをもらえ、初めての方も安心してゲームを楽しむことができます。8人1チームで7つのコースを回り、ボールするまでに打つ回数が少ないほど成績が良いという内容です。



仲間と一緒に楽しい



おいしい餅入りせんべいで満足



心びのび元気体操



体を動かして元気いっぱい

★★植田区内のイベント★

- 5/24 一植田校区春季大会大運動会 8/上村一うえたまつり
- 6/29 一小学校一日自由参観 8/甲種一上信まつり
- 7/30-31 一子ども会キャンプ

【編集後記】

広報誌15号が完成しました。編集委員もだんだんと、編集作業に慣れ編集会議も随分少なくなってきたようになりました。当誌には、原稿も手書きで手渡しというところも多かったですが、最近では、雑誌に合わせた担当記者ごとにメールで原稿や、写真を送ってくださるようになりました。是非これにて、担当の心が通じているように思います。文明の進歩はここであつたか。編集者とともに、ありたいものだと感じることばかりです。

さて、今回はバスの運転手さんに、大事な足跡の時間をインタビューに当てさせていただきました。ありがとうございます。バスの運転手さん以外にも、今回はゆ〜りのんびりごちとあちこち旅行をしたたいごちがあるそうです。四国島内でもいろいろとあちこちあるそうです。高速道路ではなく一般道でゆ〜り運動したいのんびりごち、聞きお話をうかがいながら、「運動の楽しさ、旅行が、ホントにすきなごち」と感じました。運動手さんの夢、一歩きながら、お話を聞きました。一歩きしてしまいました。みなさんの夢は何ですか？ぜひ、おしえて下さいね。



今年もセンター職員に異動があり、4年勤続された主任の藤野優さんが3月末日に退職され、後任に多田育子さんが就任、新たに事務補助の重松孝代さんを採用し、新体制で一気団結してがんばりますので、よろしくおねがい申し上げます。

センター長 須崎 健一

センター長	須崎 健一
主任	多田 育子
事務補助	樋口 孝子
事務補助	重松 孝代
スタッフ	矢野 悠美
スタッフ	矢野 純子
スタッフ	多田 健一
スタッフ	村尾 彰



植田センター長



多田 主任

4月1日より、西條町校区コミュニティセンターに就任された須崎健一です。植田センター長は昨年まで就任、今年度7年目を迎えられる予定です。2年目に向けての意気込みを、センター長に伺いました。

「植田地区の皆さん、仲間を大切に。人柄もあつた方が多いですね。センターを利用される方々にも親切にしていきたい。そしてもうれしく思っています。窓口に来られる方は高齢者の方が多いので、分かりやすく親切に心がけています。今年度、新しく主任としてセンター業務をすることになった多田さん、事務補助の重松さんを迎え、続いて勤務の樋口さんと一緒に、今年度も、笑顔で話しやすい雰囲気を作りたい。遊城の皆さんに「センターに来て良かった」と言ってもらえるように、おなごの努力をしていきたいと思っています。」と笑顔で話されていました。また、お孫さんとのふれあいが嬉しい時期、とおっしゃることばの奥には、高齢者ももちろん、遊城の子どものためにできることを、地域の大人みんなで力を合わせていきたい、そのことがこの植田地区を元気にしていくことにつながるといふ強い思いが感じられました。

多田さんは1人1人好きで笑顔がさわやかなフレッシュアップさんです。平日の昼間のセンター業務と窓口業務をしてくださいます。また樋口さんと重松さんは交代で平日の事務窓口業務に勤めてくださいます。今年も平日の9時から17時まで在任です。戸数簿本、印鑑証明書などは、センター窓口で発行されることになっています。お気軽にお問い合わせください。

遊城の住民皆さんのコミュニティセンターです。ご利用されたことがある方も、ない方も、お気軽に「元気なみんな、軽装でまよんね」と、お立ち寄りください。楽しくも癒しもあり笑顔で皆さんをお待ちしています。一人でも多くの方が、コミュニティセンターを地域の情報発信の場、ふれあいの場、なごみのもちとして利用して下さることを願っています。